

令和6年度沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代支援の実施状況

1. 実施概要:

地域就職氷河期世代支援加速化交付金(内閣府)を活用し、沖縄県キャリアセンターに専門相談員を配置し、就職氷河期世代向けの就職相談やセミナー等を実施。

2. 重要業績評価指標(KPI)実績

**KPI①沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代の相談者数**

令和6年度目標値 330 人、令和6年度実績値 517 人

【説明】今年度の新たな取り組みとして、キャリアセンター内において土曜日に就職相談会を実施し、またポスティングやラジオ広告などを通じて周知・広報を行うなどにより、相談者を増やすことができた。

**KPI②沖縄県キャリアセンターを通じた就職氷河期世代の就職者数**

令和6年度目標値 55 人、令和6年度実績値 78 人

【説明】例年、支援後の就職状況を電話調査で確かめてきたが、今年度は同じフロアに入居するハローワークプラザとの連携もあり、就職者の情報を取りこぼしなく把握できたこともあり目標達成となった。

**KPI③沖縄県キャリアセンターにおける就職氷河期世代のセミナー参加者数**

令和6年度目標値 580 人、令和6年度実績値 1,035 人

【説明】就職氷河期世代向けセミナーに加えて、一般向けセミナーに氷河期世代の方々が多く参加したことで目標を上回ることとなった。また昨年度に引き続き、前半:セミナー/後半:個別相談形式の特別セミナーを行い参加者数が増加した。

3. 本事業による就業者数

令和6年度、本事業による就業者数は 78 人。

※雇用形態別内訳:

正規雇用 15 人、非正規雇用 31 人、雇用形態不明 32 人

#### 4. 事業の総括

##### 〈実施状況・成果〉

- ・就職氷河期世代向け相談窓口の周知を行うため、SNS での広報、チラシの作成配布 20,000 枚、市町村広報誌の広告利用、バスシート広告、Instagram 広告、Google リスティング広告、ラジオ CM を通じて情報発信を実施した。
- ・相談目標 330 人に対し 517 人、就職目標 55 人に対し 78 人、セミナー参加目標 580 人に対し 1035 人となった。

##### 〈事業開始から現在に至るまでのコメント・今後の展望〉

セミナーについては単なるセミナー開催から、前半セミナー・後半個別相談という形態にし、それぞれの課題に寄り添う形としたものから、さらにセミナーの内容によっては中盤に個別相談を入れ、その後にワークや説明を追加するなど個別相談がより効果的に活用できるよう模索してきた。

セミナー参加者数について、長年の課題であった氷河期世代向けに限定したセミナーの集客力アップに成功した。その世代で需要が予想されるテーマを選定し、開催時期も含め計画的に開催を進めた。また、同月に2回開催する場合には、同じテーマで開催することで参加者からリピーターを増やすこともできた。

また、一定期間ではあるがハローワークの開庁に合わせて3カ月間、第二土曜日に就職相談会を開催し、すべての開催日で定員を満たすことができた。令和7年度以降はこれを踏まえ、土曜日就職相談会の定期的な実施を検討している。さらにキャリアセンター内に留まらず、市町村とも連携した「出張セミナー」等も行い、南部地区だけでなく中北部の氷河期世代に向けての支援も拡充するなど、これまでとは違った切り口をみせることで集客の牽引となるような企画に取り組んでいく。

#### 5. その他(就職氷河期世代活躍促進プラットフォームについて)

- ・沖縄県域における支援プラン及びこれに基づく効果的な支援策のとりまとめ、各種施策の進捗状況を統括することを目的として、沖縄労働局、沖縄県をはじめとする関係行政機関、経済団体、労働団体、支援機関等から構成される「おきなわプラットフォーム」を設置している。
- ・令和6年度は、令和6年8月に書面で、令和7年1月17日に対面で開催し、各機関が実施する事業の進捗状況確認や意見交換を行い、引き続き関係機関が連携して取り組んでいくことを確認している。